

令和3年度
北アルプス日本海広域観光連携会議

通常総会資料



期 日 令 和 3 年 6 月

会 場 書面決議

目 次

第1号議案	令和2年度事業報告について	1 ページ
第2号議案	令和2年度収入支出決算について	3 ページ
第3号議案	令和3年度事業計画（案）について	5 ページ
第4号議案	令和3年度収入支出予算（案）について	7 ページ
参考資料	構成団体名簿	
	役員名簿	
	幹事会・専門委員会名簿	
	連携会議規約	
	連携会議行動計画	

令和2年度 事業報告

令和2年4月～令和3年3月

会議の開催

(1) 広域観光連携専門委員会

- ・新型コロナウイルス感染拡大により中止。メールにより内容検討等を実施した。

(2) 幹事会

- ・新型コロナウイルス感染拡大により中止。

令和2年度の取組

(1) 北アルプス日本海エリアマイクロツーリズム推進事業

- ・新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎつつ観光交流を促進するため、北アルプス日本海エリアを対象にデジタルスタンプラリーを計画したが、新型コロナウイルス第3波の発生によりデジタルスタンプラリーシステムの構築にとどめ、スタンプラリーの実施を令和3年度に延期した。

【事業概要】

■実施時期

- ・12月19日(土)から3月28日(日)までの冬季閑散期を予定した。

■ターゲット

- ・主に、北アルプス日本海広域観光連携会議を構成する6市町村の住民及び期間中に6市町村を訪れる観光客を対象とした。

■展開イメージ

- ・スマートフォンやタブレット端末を利用したデジタルスタンプラリー
- ・北アル日本海エリア内の観光施設を訪問すると、GPSを利用してデジタル上のスタンプを自動取得されるもの。
- ・集めたスタンプ数などにより、賞品(55人)や参加賞を用意し参加を促す。
- ・駅、博物館、美術館、温泉、道の駅、スキー場など59施設を登録
- ・「温泉」「美術館」などの類似施設による参加コースをあらかじめ設定し、スタンプを集めることでエリア内の「温泉めぐり」「美術館めぐり」ができる仕組み

■デジタルスタンプラリーのメリット

- ・スタンプ集めやプレゼントの応募などで、フロントを訪問したりスタンプに触ったりする必要がないため、感染の拡大防止が図られる。
- ・参加者の利用データを集めることができ、マーケティングなどにも活用可能
- ・スタンプのポイントの他、近隣情報(観光スポット)もマップ内に掲載可能

(2) シーフードシャトルバス運行支援事業

・冬季、白馬バレーに滞在する日本人観光客や在日外国人、及び住民を、白馬一糸魚川間をシャトルバスで繋ぎ、エリア内の観光流動の創出を図るため、今回、お食事券付きシャトルバスとして新たに計画したが、新型コロナウイルス第3波の発生により事業を中止した。

【事業概要】

■運行を計画したスケジュール（期間中の毎週金曜日 全9回運行）

令和3年1月22日（金）～令和3年3月19日（金）

■運行時間

五竜エスカルプラザ（17：45）⇒エコーランド（18：00）⇒白馬東急ホテル（18：10）⇒八方インフォメーションセンター（18：15）⇒白馬山麓ツアーズ（18：20）⇒南小谷駅（18：40）⇒糸魚川市キターレ（19：30～22：00）⇒南小谷駅（22：55）⇒白馬山麓ツアーズ（23：05）⇒八方インフォメーションセンター（23：20）⇒白馬東急ホテル（23：25）⇒エコーランド（23：40）⇒五竜エスカルプラザ（23：55）

■利用料金 2,000円（往復1,000円+食事券1,300円分）

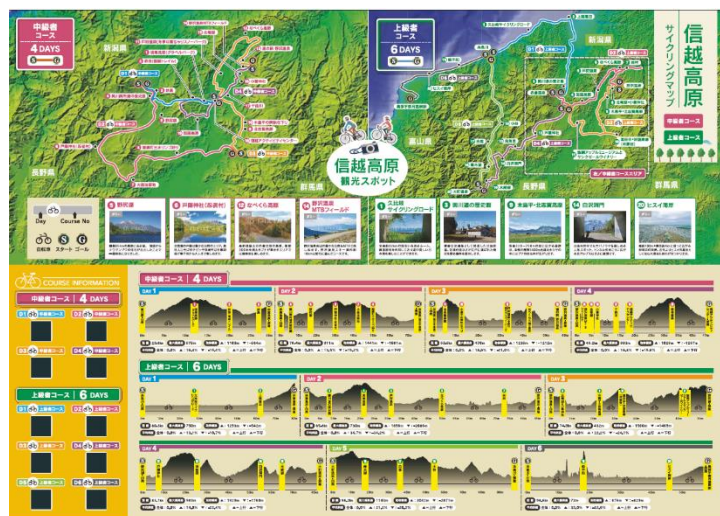
■運行実績 なし

(3) 北アルプス日本海エリアサイクルツーリズム推進事業

・北アルプス日本海エリアにこだわらず、より広域的な連携を行うため、新たに信越高原と連携し、サイクリング周遊コースの造成等を行い世界へのアピール度を高めた。

① 広域サイクリングコースの造成

・上越、信越高原、北アルプス、糸魚川、朝日を結ぶ周遊コースのデジタルマップを作成した。



② 輪行バッグ推進事業

・対面でのやり取りに伴う接触など、感染拡大防止を図るため、バッグの貸出しを休止した。

令和2年度 収入支出決算

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
	3,144,500	3,144,500	0	
1. 負担金	2,000,000	2,000,000	0	糸魚川市半額
	315,000	315,000	0	上越市半額
	445,000	445,000	0	大町市半額
	137,500	137,500	0	白馬村半額
	47,000	47,000	0	小谷村半額
	200,000	200,000	0	朝日町半額
2. 雑収入	1,087	30	△ 1,057	預金利息 15円 (8/15) 預金利息 15円 (2/13)
3. 繰越金	1,354,413	1,354,413	0	
計	4,500,000	4,498,943	△ 1,057	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1. 事業費	4,000,000	2,071,760	△ 1,928,240	
広告宣伝	0	0	0	事業休止
広域旅行商品の販売促進	0	0	0	事業休止
マイクロツーリズム推進事業	2,500,000	1,870,880	△ 629,120	スタンプラリーシステム構築 1,870,000円 振込手数料 880円
訪日プロモーション地方連携事業	0	0	0	事業休止
冬季シャトルバス運行事業	300,000	0	△ 300,000	事業休止
鉄道魅力発信事業	0	0	0	事業休止
サイクルツーリズム推進事業	1,000,000	0	△ 1,000,000	事業休止
情報発信事業	200,000	200,880	880	ホームページ管理等委託 200,000円 振込手数料 880円
2. 連携会議運営費	270,000	1,200	△ 268,800	
会議費	40,000	0	△ 40,000	総会、会議等書面開催
事務委託費	200,000	0	△ 200,000	会議開催中止に伴い事務委託休止
事務通信費	30,000	1,200	△ 28,800	収入印紙代 1,000円 (11/11) 収入印紙代 200円 (4/7)
3. 予備費	230,000	0	△ 230,000	
予備費	230,000	0	△ 230,000	
計	4,500,000	2,072,960	△ 2,427,040	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

収入4,498,943円-支出2,072,960円=差引2,425,983円は次年度に繰り越す


監査報告書

令和2年度収入支出決算について、関係書類及び諸帳簿を監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

令和3年 5月 18日

監事

新潟県糸魚川地域振興局 局長

福岡肇 

令和3年 5月 17日

監事

大町商工会議所 会頭

坂中 正晃 

令和3年度 事業計画（案）

（1）観光周遊促進事業

2,150,000円

・with コロナに対応したマイクロツーリズムと北アルプス日本海エリア内の観光交流を促進するためスタンプラリーを実施する。

- ① 実施時期 新型コロナウイルスの感染状況に応じて実施する。
- ② ターゲット 全国を基本に、新型コロナウイルスの状況により宣伝エリアを決定する。
- ③ 事業内容
 - ・6市町村内の観光施設等にデジタルスタンプを設置し、魅力的な観光地を巡るマイクロツーリズムを促進。
 - ・スマホを活用したデジタルスタンプラリーを実施することにより、スタンプや台紙に触ることなくスタンプを集められるシステムとする。
 - ・スタンプの数に応じて抽選で賞品を進呈する。

（2）鉄道魅力発信事業

2,000,000円

・3つの鉄道路線（JR大糸線、日本海ひすいライン、あいの風とやま鉄道線）の魅力アピールすることで、エリア内への来訪意欲を創出し、乗車につながる取組を促進する。

- ① 実施時期 新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、秋を中心に実施予定。
- ② ターゲット 北アルプス日本海エリア内の住民やエリア外の観光客や鉄道ファン
- ③ 事業内容
 - ・糸魚川ジオステーションジオパルや直江津レールパーク、朝日・糸魚川ヒスイ海岸などのコンテンツと、鉄道利用を組み合わせた観光ツアーを実施することにより、エリアの魅力向上と鉄道利用の促進を図る。
 - ・鉄道乗車を条件としたプレゼントキャンペーンや鉄道関連施設での体験（キハ52試乗体験ツアー等）など、鉄道ファンをターゲットとした乗車につながる事業を実施。
 - ・大糸線活性化協議会と連携したキャンペーンを実施。

（3）サイクルツーリズム推進事業

1,800,000円

・北アルプス日本海エリアの魅力を、さらに広域的に発信するため、新たに信越エリアと連携してサイクリング周遊コースの情報発信やサイクリング環境の整備等により誘客を図る。

- ① 実施時期 通年
- ② ターゲット 国内サイクリスト、将来のインバウンド（台湾）対応
- ③ 事業内容
 - ・上越、信越高原、北アルプス、糸魚川、朝日を結ぶ周遊ルートは、初級から上級まで幅広いターゲット層を誘客できることから、広域サイクリングコースの情報発信やサイクリングマップ制作などによる誘客を図る。

- ・輸行バッグの貸出については、新型コロナウイルス対策に配慮しながら事業の普及を図る。
- ・観光施設へのサイクルラックの設置など、サイクリング用備品の整備を行うことにより、立ち寄りやすい環境整備を行う。
- ・移動しやすい環境整備のため、鉄道事業者とサイクルトレイン等の実施に向けて連携を図る。

(4) シャトルバス運行支援事業

300,000 円

・白馬エリアと糸魚川駅間を結ぶシーフードシャトルバスの取組を支援し、地域間の観光流動の促進を図る。

- ① 実施期間 令和4年1月～令和4年2月
- ② 事業主体 糸魚川シーフードシャトルバス実行委員会
- ③ 事業内容

- ・食事券付きのお食事バスとして運行を計画中。
- ・将来のインバウンドを見込みながら、日本人観光客や地元住民の利用促進を行う。

(5) ホームページ等管理

200,000 円

・北アルプス日本海広域観光連携会議のホームページや SNS を活用し、エリア内の観光情報を適宜掲出し、情報発信を行う。

令和3年度 収入支出予算（案）

【収入の部】

(単位：円)

科 目	R3予算額	R2予算額	比較増減	説 明
	6,289,000	3,144,500	3,144,500	
1. 負担金	4,000,000	2,000,000	2,000,000	糸魚川市
	630,000	315,000	315,000	上越市
	890,000	445,000	445,000	大町市
	275,000	137,500	137,500	白馬村
	94,000	47,000	47,000	小谷村
	400,000	200,000	200,000	朝日町
2. 雑収入	5,017	1,087	3,930	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	2,425,983	1,354,413	1,071,570	
計	8,720,000	4,500,000	4,220,000	

【支出の部】

科 目	R3予算額	R2予算額	比較増減	説 明
1. 事業費	6,450,000	4,000,000	2,450,000	
マイクロツーリズム推進事業	2,150,000	2,500,000	△ 350,000	デジタルスタンプラリー
鉄道魅力発信事業	2,000,000	0	2,000,000	3 ローカル線の利用促進事業
サイクルツーリズム推進事業	1,800,000	1,000,000	800,000	新潟・長野・富山連携事業 1,500,000円 環境整備費 300,000円
シャトルバス運行事業	300,000	300,000	0	シーフードシャトルバスの推進
ホームページ等管理	200,000	200,000	0	SNS情報発信費用
2. 連携会議運営費	270,000	270,000	0	
会議費	40,000	40,000	0	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	30,000	30,000	0	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	2,000,000	230,000	1,770,000	
予備費	2,000,000	230,000	1,770,000	
計	8,720,000	4,500,000	4,220,000	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。